

生物環境工学科:総合教育科目・専門教育科目一覧表[地域環境工学コース(JABEE対応)] (H23~H24年度入学者対象)

総合教育科目	I群	言語系	1年次				2年次				3年次		4年次		開講単位数	卒業に必要な単位数							
			必修	英語	英語 I (2) (f)	英語 II (2) (f)	英語 III (2) (f)	英語 IV (2) (f)	ドイツ語 I (2) (f)	フランス語 I (2) (f)	中国語 I (2) (f)	インドネシア語 I (2) (f)	ドイツ語 II (2) (f)	フランス語 II (2) (f)	中国語 II (2) (f)	インドネシア語 II (2) (f)	ドイツ語 III (2) (f)	スペイン語 I (2) (f)	中国語 III (2) (f)	日本語 I (2) (f)	ドイツ語 IV (2) (f)	スペイン語 II (2) (f)	中国語 IV (2) (f)
総合教育科目	II群	数理系	選	その他の外国語	国語表現論 (2) (f)	※解析学 (2) (c)	☆線形代数 (2) (c)	☆一般統計学 (2) (c)	☆情報科学 (2) (c)	8	2	☆印より4科目以上を履修して履修 ☆印より4科目以上を履修して履修 ☆印より4科目以上を履修して履修 ☆印より4科目以上を履修して履修											
				人間の科学	哲学の基礎 (2) (a)	倫理観の変遷 (2) (a)	☆基礎統計学 (2) (c)	☆情報科学 (2) (c)	8	2													
				社会科学	比較文化論 (2) (a)	基礎スポーツ科学 (2) (a)	☆基礎統計学 (2) (c)	☆情報科学 (2) (c)	8	2													
				自然科学	法理学 (2) (a)	社会学の視点 (2) (a)	☆基礎統計学 (2) (c)	☆情報科学 (2) (c)	8	2													
	III群	択	地理学の基礎 (2) (a)	☆基礎物理学 (2) (c)	☆基礎力学 (2) (c)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2														
			☆基礎地球科学 (2) (c)	☆科学史 (2) (b)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
			日本の文学 (2) (a)	比較芸術論 (2) (a)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
			行動心理学 (2) (a)	個性の心理学 (2) (a)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
	IV群	択	日本国憲法 (2) (a)	社会学の実践 (2) (a)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
			人文地理学の視点 (2) (a)	歴史と現代社会 (2) (a)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
			☆社会の生物学 (2) (c)	☆総合地球科学 (2) (c)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
			☆地球環境を考える (2) (c)	☆総合地球科学 (2) (c)	☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12	2															
基礎専門科目(※1)	選択	生物資源科学フィールド実習 (1) (f)	生物資源科学概論 (2) (a)	生物資源科学概論 (2) (a)	生物資源科学概論 (2) (a)	7	7																
		生物生産原論 (2) (a)	農地環境整備学 (2) (a)	生物資源科学概論 (2) (a)	生物資源科学概論 (2) (a)	7	7																
		地域環境保全学概論 (2) (a)	環境情報工学 (2) (c),(e)	生物資源科学概論 (2) (a)	生物資源科学概論 (2) (a)	7	7																
		生態学 (2) (a),(d)(1)	生物工学 (2) (a),(c),(d)(1)	生物資源科学概論 (2) (a)	生物資源科学概論 (2) (a)	7	7																
専門教育科目	必修	科	目	(A)生物資源生産・生命・環境・専門基礎に関する科学の知識修得とその応用能力育成	△ 園学 (2) (c)	△ 建築計画学 (2) (a)	△ 設計製図 I (1) (e)	灌漑排水環境学 (2) (d)(2)	ベクトル解析 (2) (c),(d)(1)	79	79												
				(B)土・水の理工学的利活用に関する科学の知識・その応用技術の修得	水資源環境工学 (2) (d)(2)-(4)	基礎水理学 (2) (d)(1)-(2)	応用水理学 (2) (d)(1)-(2)	測量学 I (2) (c),(d)(4)	測量学 II (2) (c),(d)(4)			構造力学 I (2) (d)(1)-(2)	構造力学 II (2) (d)(1)-(2)	土質力学 (2) (d)(1)-(2)	環境土木施設工学 I (2) (c),(d)(2)-(4),(e)	応用数学 (2) (c),(d)(1)	技術者の物理学 (2) (c)						
				(E)知識・技術の実験・実習を通しての体得と実践的な能力の育成	△ エコロジカルデザイン演習 (1) (d)(4)-(5),(e),(f),(g),(h)	△ 測量学実習 I (2) (c),(d)(3),(h)	環境情報学実習 (1) (c),(d)(3)	測量学実習 II (2) (c),(d)(3),(h)	水・土環境工学実験 (1) (d)(3),(g),(h)			土質材料工学実験 (1) (d)(3),(g),(h)											
				(F)知識・技術・推察力・洞察力・表現力・発表力等を総合的に活用して、開発・研究が進められる能力の育成				専門英語 (2) (f)	卒業研究 (4) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)			卒業演習 (2) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)											
				(G)インターンシップを通しての知識・技術の実際の理解と技術者倫理の認識				学外実習 (2) (d)(5),(h)	△ 技術者倫理 (2) (b)														
				(C)生物資源生産基盤・生活基盤の整備・開発・保全の知識・技術の修得		△ コンクリート工学 (2) (d)(2)		環境土木施設工学 II (2) (c),(d)(2)	土木材料 (2) (d)(2)			地域環境保全学各論 (2) (a),(d)(2)											
	分野必修科目(※2)	環境	目	(D)環境・循環型社会に関する知識と社会的要求への対応手法の修得とエコロジカルデザイン能力の育成	△ 農村整備計画学 (2) (d)(2)			△ 生物地域環境計画学 (2) (a),(d)(2),(e)			6	6											
				△ 建築文化史 (2) (a)	△ 建築構造学 (2) (c)	△ 環境建築学 (2) (c)	△ 設計製図 III (1) (d)(3),(g),(h)	△ 土木施工 (2) (d)(5)			15以												
				エコシステム工学 (2) (a)	生物生産システム工学 (2) (d)(1)	△ 環境設備工学 (2) (d)(1)	△ 建築材料環境 (2) (c)																
				農業気象学 (2) (a)	機械要素 (2) (d)(1)	△ 生物生産施設環境学実験 (1) (c),(g)	△ 建築施工 (2) (d)(5)																
				フレッシュマンセミナー (1) (f)	△ 環境空調工学 (2) (d)(1)	△ 生物プラント工学 (2) (d)(1)	△ 建築法規 (2) (b)																
					熱力学 (2) (d)(1)	生物生産システム工学実験・実習 (1) (g)	バイオメカトロニクスシステム制御学 (2) (d)(1)																
	△ 建築設計製図基礎 (1) (e)	機械材料 (2) (d)(1)	△ 地域環境GIS実習 (1) (d)(3),(e)																				
選択科目	目			電気・電子工学概論 (2) (d)(1)	△ 建築総合設計製図 (1) (e)																		
				ポストハーベスト工学 (2) (d)(1)	△ 住宅地環境計画 (2) (d)(5)																		
				バイオマス工学 (2) (d)(1)	△ 都市計画 (2) (d)(5)																		
				△ 木造建築構法 (2) (c)																			
計										60	124												

(注) 総合教育科目について英語 I~IV以外の科目は開講年次の指定はありません。(どの年次でも履修可能。1年次で英語 III・IV以外の全科目を履修可能) 総合教育科目の※印は必修科目です。

英語以外の母国語については留学生は母国語を履修することが出来ません。また、日本語 I・IIは留学生のみ履修できます。△印は、一級・二級建築士受験資格取得に関する科目を示します。

表中の(A)~(G)は学習・教育目標。(a)~(h)は目標達成に必要な知識・能力を示し、その内容は82ページに記載してあるので参照してください。

※1 基礎専門科目「生物資源科学フィールド実習」・「生物資源科学概論」については開講年次の指定はありません。基礎専門科目「生物資源科学フィールド実習」・「生物資源科学概論」・「キャリアデザイン入門」・「キャリアデザイン概論」で修得した単位は専門教育科目の選択の単位数の中に算入されます。(専門教育科目の卒業要件単位数として算入されます)ただし、地域環境工学コース修了に必要な単位数としては算入されません。

※2 分野必修科目とは、環境分野または基盤分野のいずれかを全て履修すること

総合教育科目	I群	言語系	1年次		2年次	
			必修	英語	★英語 I (2) (f) ★英語 II (2) (f)	★英語 III (2) (f) ★英語 IV (2) (f)
I群	II群	自然の科学	選	その他の外国語	ドイツ語 I (2) (f) フランス語 I (2) (f) 中国語 I (2) (f) インドネシア語 I (2) (f)	ドイツ語 II (2) (f) フランス語 II (2) (f) 中国語 II (2) (f) インドネシア語 II (2) (f)
				★解析学 (2) (c)	☆線形代数 (2) (c)	
				哲学の基礎 (2) (a) 比較文化論 (2) (a)	☆倫理観の変遷 (2) (a) 基礎スポーツ科学 (2) (a)	
				法 (2) (a) 地理学の基礎 (2) (a)	☆社会学の視点 (2) (a) 歴史学の視点 (2) (a)	
III群	IV群	択	☆基礎物理学 (2) (c) ☆基礎地球科学 (2) (c)	★基礎力学 (2) (c) ☆科学史 (2) (b)	比較芸術論 (2) (a) 個性の心理学 (2) (a) 社会学の実践 (2) (a) 歴史と現代社会 (2) (a) ☆総合地球科学 (2) (c)	
			日本の文学 (2) (a) 行動心理学 (2) (a) 日本国憲法 (2) (a) 人文地理学の視点 (2) (a) ☆社会の生物学 (2) (c) ☆地球環境を考える (2) (c)	☆化学実験 (1) (c) スポーツ実技 I (1) (a) 総合教育ゼミナール (2) (a),(f)	☆生物学実験 (1) (c) スポーツ実技 II (1) (a)	
基礎専門科目(※1)			選択	生物資源科学フィールド実習 (1) (b)		生物資源科学概論 (2) (a)
専門教育科目	必修	必	修	(A)地域資源の生産・管理・利用に関する科学の基礎的知識と基礎的な考え方の知識修得とその応用能力育成	生物生産原論 (2) (a) 地域環境保全学概論 (2) (a) 基礎生態学 (2) (a),(d)(1) 生物環境調節工学 (2) (a),(c),(d)(1) 生物工学 (2) (a),(c),(d)(1)	△ 農業施設学 (2) (a) 環境化学 (2) (a),(c),(d)(1) 大気環境科学 (2) (a) バイオメカトロニクス (2) (c) 環境情報工学 (2) (c),(e)
				(B)土・水・空間の理工学的利用に関する科学の知識・その応用技術の修得	● 地域環境水文学 (2) (d)(1)-(2) ● 土壌学 (2) (d)(1)-(2) ● 社会基盤施設工学概論 (2) (c),(d)(2)-(4),(e) △ ● 農村整備計画学 (2) (d)(2) △ 図学 (2) (c)	● 基礎水理学 (2) (d)(1)-(2) ● 応用水理学 (2) (d)(1)-(2) △ ● 測量学 I (2) (c),(d)(4) △ ● 測量学 II (2) (c),(d)(4) △ ● 構造力学 I (2) (d)(1)-(2) △ ● 構造力学 II (2) (d)(1)-(2) △ ● 土質力学 (2) (d)(1)-(2) ● 応用数学 (2) (c),(d)(1) ● 技術者の物理学 (2) (c) ● 農地環境整備学 (2) (a) ● 数理情報科学 (2) (a),(c),(d)(1),(e) ● 水資源環境工学 (2) (d)(2)-(4)
				(E)知識・技術の実験・実習を通しての体得と実践的な能力の育成		△ ● 測量学実習 I (2) (c),(d)(3),(h) 環境情報工学実習 (1) (c),(d)(3)
				(F)知識、技術、推察力、洞察力、表現力、発表力等を総合的に活用して、開発・研究が進められる能力の育成	△ エコロジカルデザイン演習 (1) (d)(4)-(5),(e),(f),(g),(h) フレッシュマンセミナー (1) (f)	
教育科目	分野必修科目(※2)	基盤	環境	(G)インターンシップを通しての知識・技術の実際面の理解と技術者倫理の認識		
				(C)生物資源生産基盤・生活基盤の整備・開発・保全の知識・技術の修得	△ コンクリート工学 (2) (d)(2)	
教育科目	分野必修科目(※2)	基盤	環境	(D)環境・循環型社会に関する知識と社会的要求への対応手法の修得とエコロジカルデザイン能力の育成	△ 建築設計製図 I (2) (e) △ 環境建築学 (2) (b)	
				△ 建築文化史 (2) (a)	△ 建築構造学 (2) (c) 生物生産システム工学 (2) (d)(1) 環境空調工学 (2) (d)(1) ポストハーベスト工学 (2) (d)(1) △ 建築計画学 (2) (d)(4),(e) 環境エネルギー工学 (2) (a),(d)(1)-(4) 機械工学 (2) (d)(1) 動物生態・共生学 (2) (a) 生物資源プロセス工学 (2) (c),(d)(1)	

(注) 総合教育科目について英語 I～IV以外の科目は開講年次の指定はありません。(どの年次でも履修可能。1年次で英語 III・IV以外の全科目を履修可能) 総合教育科目の※印は必修科目です。英語以外の外国語については、留学生は外国語を履修することが出来ません。また、日本語 I・IIは留学生のみ履修できます。△印は、一級・二級建築士受験資格取得に関する科目を示します。●印は測量士(補)の資格取得のための必修科目を示します。

3年次	4年次	開講単位数	卒業に必要な単位数	
			8	8
ドイツ語 III (2) (f) スペイン語 I (2) (f) 中国語 III (2) (f) 日本語 I (2) (f)	ドイツ語 IV (2) (f) スペイン語 II (2) (f) 中国語 IV (2) (f) 日本語 II (2) (f)	34	2	★印は必修科目(6科目)。★印より4科目(実験を含む場合は3科目以上)を履修し、必修科目も合わせて合計で30単位以上履修すること。
☆一般統計学 (2) (c) 心理学入門 (2) (a)	☆情報科学 (2) (c) 文化人類学の基礎 (2) (a)	8 12		
政治学の基礎 (2) (a)	現代経済入門 (2) (a)	12		
☆基礎化学 (2) (c)	☆多様性の生物学 (2) (c)	12		
哲学の現在 (2) (a) 開発と環境の文化人類学 (2) (a) 現代の政治 (2) (a) 現代社会と福祉 (2) (a) ☆一般推計学 (2) (c)	現代社会と倫理 (2) (a) 総合スポーツ科学 (2) (a) 経済と社会 (2) (a) ☆化学特論 (2) (c) ☆科学技術と社会 (2) (b)	42	2	★印より4科目(実験を含む場合は3科目以上)を履修し、必修科目も合わせて合計で30単位以上履修すること。
☆物理学演習 (1) (c) スポーツ実技 III (1) (a)	☆アルゴリズム入門 (1) (c) スポーツ実技 IV (1) (a)	10		
キャリアデザイン入門 (2) (b)	キャリアデザイン概論 (2) (b)	7	下記(注)の下線部参照	
ベクトル解析 (2) (c),(d)(1) ● 灌漑排水環境学 (2) (d)(2)		80	80	
水環境工学実験 (1) (d)(3),(g),(h) 土壌環境工学実験 (1) (d)(3),(g),(h) ● 測量学実習 II (1) (c),(d)(3),(h)				
専門英語 (2) (f)	卒業研究 (6) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)			
生物環境工学演習 I (1) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)	生物環境工学演習 II (1) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)			
生物環境工学インターンシップ (2) (b),(d)(5),(h)	△ 技術者倫理 (2) (b)			
土木設計製図 (2) (e) 社会基盤施設工学各論 (2) (c),(d)(2) ● 土木材料 (2) (d)(2) 土質・材料工学実験 (1) (d)(3),(g),(h)		9	9	どちらかの分野で9単位を履修すること。両方取得も可。 ※測量士(補)を取得する際は履修科目に注意すること。
地域環境保全学各論 (2) (a),(d)(2) △ 生物地域環境計画学 (2) (a),(d)(2),(e)	地域環境GIS演習 (1) (e)	9	9	
△ 建築設計製図 II (2) (d)(4),(e),(g),(h) 機械設計製図 (2) (e),(g),(h) リモートセンシング実習 (1) (a),(c) 公害防止管理論 (2) (b),(d)(4) 野生動物フィールド実習 (1) (a),(d)(5) △ 建築環境工学 (2) (d)(1) 農産物流通工学 (2) (d)(1) △ 農業施設環境学実験 (1) (c),(g) 食料機械工学 (2) (c) 生物生産システム工学実験 (1) (g) 電気・電子工学 (2) (d)(1) バイオメカトロニクス実習 (1) (g) 生物環境工学特別講義 (2) (b) △ 木造建築構法 (2) (c) 海外研修 (2) (a),(f),(g) バイオマスエネルギー工学 (2) (a),(d)(1)	△ CAD製図 (1) (d)(3)-(4),(g),(h) △ 建築設計製図 III (1) (d)(4),(e),(g),(h) △ 建築総合設計製図 (1) (d)(4),(e),(g),(h) △ 建築材料 (2) (c),(d)(5) △ 建築施工 (2) (d)(5) △ 建築法規 (2) (b),(d)(5) フィールドワーク論 (2) (b) 土施工 (2) (d)(5) △ 都市計画 (2) (b),(d)(5)		5単位以上	
計			124	

※1 基礎専門科目「生物資源科学フィールド実習」「生物資源科学概論」については開講年次の指定はありません。基礎専門科目「生物資源科学フィールド実習」「生物資源科学概論」「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン概論」で修得した単位は専門教育科目の選択の単位数の中に算入されます。(専門教育科目の選択科目の卒業要件単位数として算入されず)ただし、地域環境工学コース修了に必要な単位数としては算入されません。
※2 分野必修科目については、環境分野または基盤分野の科目全てを履修することが必要。表中の(A)～(G)は学習・教育目標。(a)～(h)は目標達成に必要な知識・能力を示し、その内容は82ページに記載してあるのをご参照ください。

		1年次		2年次	
総合教育科目	言語系科目	必修	英語 ★ 英語 I (2) (f) ★ 英語 II (2) (f)	★ 英語 III (2) (f) ★ 英語 IV (2) (f)	
		選	その他外国語 初級ドイツ語文法 (2) (f) 検定ドイツ語 (2) (f) 初級フランス語文法 (2) (f) 初級中国語文法 (2) (f) 初級韓国語文法 (2) (f) 日本語 I (2) (f)	初級ドイツ語講読 (2) (f) 初級フランス語会話 (2) (f) 初級中国語会話 (2) (f) 初級韓国語会話 (2) (f) 日本語 II (2) (f)	
	人文・社会系科目	必修	日本語表現の基礎 (2) (f) 倫理学入門 (2) (a) 心理学入門 (2) (a) 文化人類学入門 (2) (a) 法学入門 (2) (a) 政治と現代社会 (2) (a) 歴史学入門 (2) (a) 地理学の現在 (2) (a)	日本の文学 (2) (a) 倫理学の現在 (2) (a) 行動心理学 (2) (a) 環境の文化人類学 (2) (a) 日本国憲法 (2) (a) 経済学入門 (2) (a) 社会学の現在 (2) (a)	
		選	★ 物理学入門 (2) (c) ★ 基礎地球科学 (2) (c) ★ 線形代数 (2) (c) ★ 化学特論 (2) (c)	★ 基礎力学 (2) (c) ★ 統計学入門 (2) (c) ★ 物理学演習 (1) (c) ★ 化学実験 (1) (c)	
	健康・スポーツ系科目	必修	★ スポーツ実技 I (1) (a) ★ スポーツ実技 II (1) (a)	★ スポーツ実技 III (1) (a)	
総合系科目	選	★ アルゴリズム入門 (1) (c) ★ 科学技術と社会 (2) (b) ★ 教養講座 (2) (a)	★ ネットワーク入門 (1) (c) ★ 地球環境を考える (2) (c)		
基礎専門科目(※1)		選	生物資源科学フィールド実習 (1) (b),(i) 生物資源科学概論 (2) (a)		

		3年次		4年次		開講単位数	卒業に必要な単位数	
		初級ドイツ語会話 (2) (f)		中級ドイツ語講読 (2) (f)		8	8	
		初級スペイン語文法 (2) (f) 中級中国語文法 (1) (f)		初級スペイン語会話 (2) (f) 中級中国語会話 (1) (f)		32	★印は必修科目(7科目)。★印より4科目以上を修得し、合計30単位以上修得すること。 ★印は必修科目(7科目)。★印より4科目以上を修得し、合計30単位以上修得すること。	
		哲学入門 (2) (a)		哲学の現在 (2) (a)		52		
		個性の心理学 (2) (a) 比較文化論 (2) (a) 社会学入門 (2) (a) 経済と現代社会 (2) (a) 現代社会と福祉 (2) (a)		比較芸術論 (2) (a) 政治学入門 (2) (a) 地理学入門 (2) (a) 歴史と現代社会 (2) (a)		27		
		★ 基礎化学 (2) (c) ★ 推計学入門 (2) (c) ★ 総合生物学 (2) (c) ★ 総合地球科学 (2) (c)		★ 基礎生物学 (2) (c) ★ 解析学 (2) (c) ★ 生物学実験 (1) (c)		1		
		★ スポーツ実技 IV (1) (a)		★ スポーツ科学 (2) (a)		5		
		★ 情報科学 (2) (c) ★ 生命倫理 (2) (b)		★ 科学史 (2) (b) ★ ボランティア論 (1) (b)		15		
		キャリアデザイン入門 (2) (b)		キャリアデザイン概論 (2) (b)*		7		下記(注)の下線部参照
		ベクトル解析 (2) (c),(d)(1) ● 灌漑排水環境学 (2) (d)(2)				80		80
		水環境工学実験 (1) (d)(3),(g),(h),(i) 土壌環境工学実験 (1) (d)(3),(g),(h),(i) ● 測量学実習 II (1) (c),(d)(3),(h),(i)						
		専門英語 (2) (f) 生物環境工学演習 I (1) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)		卒業研究 (6) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h),(i) 生物環境工学演習 II (1) (c),(d)(3)-(4)-(5),(e),(f),(g),(h)				
		生物環境工学インターンシップ (2) (b),(d)(5),(h),(i)		△ 技術者倫理 (2) (b)				
		土木設計製図 (2) (e) 社会基盤施設工学各論 (2) (c),(d)(2) ● ◎ 土木材料 (2) (d)(2) 土質・材料工学実験 (1) (d)(3),(g),(h),(i)				9	9	
		地域環境保全学各論 (2) (a),(d)(2) △ 生物地域環境計画学 (2) (a),(d)(2),(e)		地域環境GIS演習 (1) (e)		9	9	
		△ 建築設計製図 II (2) (d)(4),(e),(g),(h) 機械設計製図 (2) (e),(g),(h) リモートセンシング実習 (1) (a),(c),(i) 公害防止管理論 (2) (b),(d)(4) 野生動物フィールド実習 (1) (a),(d)(5),(i) △ 建築環境工学 (2) (d)(1) 農産物流通工学 (2) (d)(1) △ 農業施設環境学実験 (1) (c),(g),(i) 食料機械工学 (2) (c) 生物生産システム工学実験 (1) (g),(i) 電気・電子工学 (2) (d)(1) バイオメカトロニクス実習 (1) (g),(i) 生物環境工学特別講義 (2) (b) △ 木造建築構法 (2) (c) 海外研修 (2) (a),(f),(g) バイオマスエネルギー工学 (2) (a),(d)(1)		△ CAD製図 (1) (d)(3)-(4),(g),(h) △ 建築設計製図 III (1) (d)(4),(e),(g),(h) △ 建築総合設計製図 (1) (d)(4),(e),(g),(h) △ ◎ 建築材料 (2) (c),(d)(5) △ 建築施工 (2) (d)(5) △ 建築法規 (2) (b),(d)(5) フィールドワーク論 (2) (b) △ 土木施工 (2) (d)(5) △ 都市計画 (2) (b),(d)(5)			14 単位	
		△ 建築文化史 (2) (a)		△ 建築構造学 (2) (c) 生物生産システム工学 (2) (d)(1) △ 環境空調工学 (2) (d)(1) ポストハーベスト工学 (2) (d)(1) △ 建築計画学 (2) (d)(4),(e) 環境エネルギー工学 (2) (a),(d)(1)-(4) 機械工学 (2) (d)(1) 動物生態・共生学 (2) (a) 生物資源プロセス工学 (2) (c),(d)(1)				
		選 択 科 目						
計							124	

(注) 教養教育科目について英語 I ~ IV 及びスポーツ実技 I 以外の科目は開講年次の指定はありません。(どの年次でも履修可能。1年次で英語 III・IV 以外の全科目を履修可能)

英語以外の母国語については、留学生は母国語を履修することが出来ません。また、日本語 I・II は留学生のみ履修できます。
△印は、一般・二級・木造建築士受験資格取得に関する科目を示します。
●印は測量士(補)の資格取得のための必修科目を示します。

*キャリア・デザイン概論は2年次開講科目です。

※1 基礎専門科目で修得した単位は専門教育科目の選択の単位数の中に参入されます。(専門教育科目の選択科目の卒業要件単位数として算入されます)ただし、地域環境工学コース修了に必要な単位数としては算入されません。

※2 分野必修科目については、環境分野または基盤分野の科目全てを履修することが必要です。
表中の(A)~(G)は学習・教育目標(a)~(i)は目標達成に必要な知識・能力を示し、その内容は82ページに記載してあるので参照してください。

コンクリート技士・主任技士およびコンクリート診断士受験資格取得には◎印の科目いずれかの履修が必要です。